



# 就学支援センターだより

第1号

発行日 2024. 4

発行者 支援センター

主任

## 生徒・保護者のみなさんこんにちは。

生徒就学支援センター主任です。4月がスタートして、支援センターの生徒の皆さんは、日常生活どのようにしていますか？ストレスはありませんか。バイト代が入っても経済的な苦しさが生じて不安で辛いことはないですか。とても気になっています。どんな小さなことでも、心配なこと、聞いてみたいことがあれば連絡くださいね。

就学支援センターは、生徒が再び高校に通えるよう応援しています。現在186人の生徒が個々の悩みを抱えて登校が難しくなり、ここに転入、在籍しています。

- 学校の雰囲気やシステムに馴染めなかった
- 精神的・身体的な悩みを抱えている
- 人間関係が苦手、友人との関係で悩んだ
- 仕事やアルバイトで精一杯
- 妊娠・出産・育児に専念したい などです

遠くに伊江島  
たっちゅー！



学校を離れてみて、気づくこともあるでしょう。自分の将来をイメージできたら就学の一步です。どこにヒントが落ちているかわかりません。一緒に拾っていきましょう。

「体調や育児、仕事と学業との両立」「就職に有利な資格が取れる高校で再チャレンジ」という視点で、今の自分にぴったりで将来の自分が納得できる就学を決めましょう。

毎日登校して勉強がんばりたいけれど、学校の雰囲気になじめないという生徒は、泊定時や通信制の説明などを通して「自分に合ってる」と受検を決意した生徒もいます。また、高等学校卒業程度認定試験(高認)を受検して資格を取りたいと頑張っている生徒も沢山出てきています。



ロゴやイラスト  
は生徒作です

高校卒業の大切さは知りつつ育児に追われ学校をあきらめようとした生徒もいました。就学のタイミングは自ら作らなければと思いついて、就職、保育園の手続きなどについて相談を重ね、支援機関とつながり両立できる通信制で頑張っています。

アルバイトがきっかけで将来やりたい仕事を見つけた生徒は、次の就学先へ向け先生方と相談を行い今、頑張っています。

就学のための一步が不安でいっぱいだった生徒は、自分の好きなことから始めようとイラストを提供するイベントなどに参加しながら将来の夢に向かって前進していました。自分の技術を磨きながら卒業を目指せる通信制を再就学の場を選びました。

もし、就学に対する気持ちが少しでも湧いてきたら、支援センターに電話して下さい。担任は、全力で応援してくれますよ。それが、あなたにとってのはじまりです。

**険しい丘を登るためには、最初に  
ゆっくり歩くことが必要である**

シェイクスピア